



東北電友会会報

88号

令和3年
1月発行

シリーズ 生き活きと
仲間と集う 明日も共に



祝!
88号記念号

写真提供/電友会 山形支部

目次

ごあいさつ

- ・NTT 東日本 取締役 宮城事業部長 1
- ・NTT 東日本 宮城事業部 山形支店長 2

88号特集ページ

- ・会員編 3
- ・賛助会社編 21
- 支部長メッセージ 山形支部長 24
- 震災コーナー 25

- 東北地方本部だより 26
- 各地区電友会だより 29
- 会員リレーコーナー 67
- 会友コーナー 文芸・随想 72
- でんでんみちのく川柳コーナー 77
- NTT 東日本から退職者の皆さまへ 78
- 編集後記 79

ごあいさつ

東日本電信電話株式会社 取締役 宮城事業部長
宮城事業部 宮城支店長
東北復興推進室長

滝澤 正 宏

(NTT東日本一東北 代表取締役社長)



新年おめでとうございます。

東北電友会の皆様には、日頃よりNTT東日本グループの事業に対し、格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスに全世界が翻弄された1年でした。日本においては4月の緊急事態宣言発令後、対象地域が全都道府県に拡大、東北においては県境を越える移動自粛要請等が発表され日本経済は宿泊業や飲食業等が大きな影響を受けました。

そのような中、私たちは指定公共機関としての「つなぐ使命」を果たすべく新型コロナウイルス対策を実施しながら、地域に寄り添った活動を行ってきました。

コロナ禍では新しい日常、すなわち「ニューノーマル」に向けた「事業運営スタイルの革新」が必要です。これまでは「出勤してオフィスで働き、車で移動し、対面／訪問でお客さまに接する」という働き方が中心でした。しかしこれからは、「テレワークで在宅で働き、通信でやりとりし、非対面／リモートでお客さまに接する」という働き方が中心となります。

これからは「非対面活動」が中心になるため、お客さまとの対面機会はこれまで以上に大切にする必要があります。非対面活動を増やすことで移動時間が削減されます。それによりこれまで以上にお客さまへ接する機会、すなわち「お客様対応の量」を増やすことが出来ます。更に考える時間を創出することも出来るため「お客さま対応の質」の向上も期待できます。

これまで東北は、首都圏に比べて、様々なデメリットを抱えていました。「土地が広いため、移動距離が長く、公共交通網が脆弱」「人員減耗や少子高齢化が深刻」いわゆる儲からない東北エリアが定番の考え

方でした。ところがニューノーマルに対応することで変化が現れました。例えば、移動距離や時間のロスは「インサイドセールス」で解消されます。労働人口減少は「無派遣工事」や「スマートメンテナンス」で解消されます。腕の良さ、技術力、営業力があれば、首都圏以上の仕事や成果が期待できる機会の到来です。更に3密回避の観点からも、今後首都圏等からの産業の移転先／事業の創生地として期待されます。

コロナを経験し、「デジタル」、「リモート」、「オンライン」は、あらゆる産業で無くてはならないものになりました。私たちは、地域のパートナーを「つなぎ」共に、地域社会の課題を解消し、未来社会の創造に貢献するため全社員一丸となって取り組んで参りますので、今後のNTT東日本グループの取り組みに多くのご支援・ご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

また、皆様から物心両面でご支援いただいている「東北マックス」ですが、昨年は新型コロナウイルスの影響もあり予定されていた大会が軒並み中止となりました。このような中、ベースボールクラブは、都市対抗宮城県予選において企業チーム相手に善戦しましたが、東北大会出場はなりません。バドミントンクラブは、バドミントンJ SPORTSカップに出場し、初代王者の栄冠を手に入れました。来シーズンも引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、東北電友会の益々のご発展、東北電友会の皆様のご健康・ご多幸を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ

東日本電信電話株式会社
宮城事業部 山形支店長

渡 会 俊 輔



東北電友会の皆様におかれましては、日頃より弊社の事業に対し、格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年7月1日付で山形支店長に着任いたしました、渡会(わたらい)俊輔と申します。よろしくお願ひ致します。

私は、山形県鶴岡市の生まれで、初期配属は宮城県、前々任地は青森県と人生の半分以上を東北地方で過ごしてまいりました。そして今回、また、東北地方、それも生まれ故郷である山形に戻って、東北の皆様と一緒に仕事ができることについて、幸せを噛みしめると共に、この機会に東北への恩返しができるかと思っております。

世の中は、新型コロナウイルスの影響で、生活様式が一変し、また、経済も非常に大きな影響を受けています。そして、日本は元より、世界でも、新規の感染者数は増減を繰り返し、いまだ収束に向けての道のりは見えません。

一方で、ウイルス感染防止の観点から、職場に通勤せずに、自宅にしながらオンラインで仕事をするテレワークや、旅行先で観光を楽しみながら、仕事をするワーケーションという新しい働き方のスタイルが注目を浴びています。大都市から地方へのシフトが進むといわれており、自然、住環境、食べ物や観光資源に恵まれた東北地方にとっては、大きなビジネスチャンスと考えられます。

NTT東日本グループとしても、お客様及び社内のテレワークや遠隔授業をはじめとするリモート・非接触のコミュニケーションを推進しております。また、業務を人の手を介さずにデジタル化することにより、感染防止と仕事の効率化を図るDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進にも取り組んでおります。社会が大きな困難に直面している今だからこそ、地域に密着したICT企業として、お客様の課題解決、ひいてはニューノーマルの実現に向けて、地域社会に貢献してまいりたいと考えています。

最後になりますが、東北電友会会員の皆様の益々のご健勝とご発展を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



祝! 東北電友会会報

ベイジュ /
ポ寿
だよ!

88号

特集ページ

年2回の会報発行で今回44年! 88号となりました。

88(八八)というおめでたい数字の号に因み大勢の会員から
ご投稿いただき「元気発信」の特集を組みました。お忙しい中
ご投稿くださった皆様に心から御礼申し上げます。皆様の
益々のご健勝をお祈りいたします。

宮城支部

会員編

趣味や特技、健康法や昔の思い出等、
思いは様々です。素晴らしいことは、
投稿された皆様が確実に前向きと
いうことです。まさに元気発信! □
□ナなんかにかけてもらえません。



五ッ橋クラブ
岩渕 佑(77歳)

「自己流の健康法?..?」

私は大きな病気も怪我もなく、
継続して薬を飲むことも無く保険
会社から保険金を一度も貰ったこ
とがありません。健康上注意して
いることは水(アルカリイオン
水)・空気(空気清浄器)・バラ
スの良い食事(ミネラル・蛋白
質・減AGE等)・酒は殆ど飲み
ません。ストレッチ・筋トレ・体
幹鍛え等、軽く汗をかく程度の運
動。人に迷惑をかけずストレスを



五ッ橋クラブ
大澤 孝夫(78歳)

「囲碁クラブのこと」

五橋囲碁クラブの幹事を担当し
て6年が過ぎ、今年度も囲碁を通
じて各県OB囲碁クラブや他企業
OB囲碁クラブとの交流戦を楽し
みに行っていました。コロナ禍
によりやむなく中止に追い込まれ
ました。毎年開催しているNTT
OB北4県(宮城・岩手・青森・

貯めない。これが1番?..?。コロ
ナ禍の昨今、気を遣うことの多い
時代ですが肩の力を抜いて人生を
楽しみましょう。

秋田)親善囲碁大会は28年間、南3県(宮城・福島・山形)は、23年間休むことなく続けておりましたが残念ながら途切れることになりました。今年こそは、コロナ禍も収まり平常に戻り多くの方と囲碁が打てて、楽しく過ごせれば良いなあと願っております。



五ッ橋クラブ
太田 守(67歳)

「小さな楽しみ」

昨年からの新型コロナウイルス感染拡大の影響により、自粛生活で外出もままならず。そんな中の小さな楽しみが、4歳の孫との仙台近郊の公園巡りと、五ッ橋クラブサークル「山の会」の月1回の山登りです。8月には日本百名山の磐梯山に初めて登り、久しぶりに登山の達成感と頂上からの360度大パノラマに心を癒されできました。

1年でも永く山登りができるよう、そして孫と駆けっこで負けないうような普段から歩くことを心掛け

ています。



五ッ橋クラブ
小山内奈那子(67歳)

「早くスポーツ観戦が出来ますように」

元年の今頃は「ワンチーム」ラグビーW杯での日本チームの活躍に盛り上がっていましたね。コロナ禍の今、懐かしく思うのは私だけではないはず。スポーツをはじめ全てにイベントが自粛となることなど考えてもみませんでした。スポーツ観戦が好きな私にとつては生の応援ができないストレスを如何に解消するかが、目下の悩みですが、退職後始めた趣味を楽しむながら平穏な日常がくることを願っている今日この頃です。

「歌が好き」



五ッ橋クラブ
小山田いよ子(66歳)

最近、民謡の他にミュージカ

ルが好きになりました。毎回、朝の目覚めと共にNHK朝ドラの「エール」を見てからです。偉大な作曲家古関裕而さんの物語に感動。ヒット曲は、栄冠は君に輝く他数知れず、私達東北人の誇りです。「エール」にはミュージカル俳優も出演、伸びとハリのある歌声に魅了され心にしみました。いつか、東京帝国劇場でミュージカルを見ることを楽しみに日々元気に過ごしていきます。最後に皆様にエールを送ります。



五ッ橋クラブ
加藤 浩一(60歳)

「事務所立ち上げ」

令和2年3月、サラリーマン生活にピリオドを打ちました。

趣味?の健康ヲタクを生かせるものとして複数の資格を取り、昨年10月から病院と薬に依存しない健康法をテーマとした「KYK健康予防管理」を立ち上げました。

健康セミナーも定期的で開催し個別相談も受付しておりますので

是非ホームページを覗いてみて下さい。よろしくお願い致します。



五ッ橋クラブ
菅原 弘(92歳)

「趣味で健康長寿!」

毎日が日曜日となって何かしなくてはと考え、NHKの写真教室に通い始めてから20年。現在もカメラを背に撮影会に参加し約500箇所を歩きました。特に毎年2月に計画された富士山への撮影会は9年継続し2泊3日毎日秀



富士山

麗富士山をカメラに収めたのは最高でした。

最近では撮影の回数は減ったが月2回のNHK教室での研修、毎月第2火曜日の電友会の写真サークル等趣味の写真撮影は健康長寿の源です。高齢となり撮影会の回数は減ってきましたが健康で歩けるうちは継続します。



五ッ橋クラブ
佐藤シゲ子(79歳)

「コロナから半年を振り返って」

昨年はコロナに翻弄され外出もままならず、不要不急は駄目と食料品の買い出しだけの生活です。軽い運動を兼ねて毎日家屋の清掃、猫庭の手入れで過ごしています。五ッ橋クラブのITサークルに所属していますが昨年3月以来活動は自粛。9月に入ってサークル諸兄の御指導と御尽力のお陰でラインが通じウェブ会議に参加。久しぶりに先輩方の元気を御尊顔を仰ぐことができました。ワクチンの1日も早い開発を願いつつ、マス

クマスク!!です。



五ッ橋クラブ
佐藤 孫次(80歳)

「ボランティアを続ける」

毎日新型コロナウイルスに振り回され感染者が後を絶たない今日この頃、仙台も増加の傾向にあり東北トップの感染者数：どうか穏やかな日が早く来て欲しいと願うばかりです。現在私は家内と2人で道路清掃することが日課です。秋は落葉で道路がいつぱいになり大変です。もう20年以上清掃していますがが町内の皆さんが清掃することはございません。それでも、私たちはボランティアと思っております。限り続けたいと思っています。



五ッ橋クラブ
伊野 悦男(70歳)

「コロナ禍の終息を願って」

会報88号の発行に至るまで40数年にわたり様々な情報の発信、有

難うございます。

昨年からのコロナ禍が深刻化する中、行かない、やらない、会わない等が望ましいとされ、各種イベントがかなり制約されています。暮らし方をうまく変えて、後にコロナ禍がきっかけで良い事もあったと思えるように日々過ごして行きたいとは思いますが、楽しい事がそう簡単に手放せるものには無く、やりたい事、経験したい事が思い切りできる世の中に早く戻って欲しい。この辺が本音でしょうか。



五ッ橋クラブ
末永 恵子(67歳)

「月下美人」

約30年前1つの花に出会いました。月下美人という植物です。孔雀サボテンの1種で花は直径15cmの真っ白な大輪です。最初葉が2枚位でしたが、年々木立が大きくなり葉が増えて1度に10数個花が咲いた時は本当に見事でした。勿論香りが強く香水を振りまいたよ

うに部屋の中に漂いました。ただ花はひと晩です。夕方から咲き始め精一杯美しく咲く姿は儂く愛おしくさえ思います。月が似合う神秘的な花。これからも大切に育てたいと思います。



月下美人



五ッ橋クラブ
千葉 恵逸(67歳)

「近況報告」

昨年6月に10年間勤めた通建会社・T社監査役を退任し、今は午前中はこれまで週末だけだった朝のウォーキングや貸農園(120m²)での畑仕事に精を出し、午後には録りためたFM放送や購入してまだ聴いていないCD等のクラシック音楽を聴く毎日です。昨年3月以降自粛していた山登

りも、6月から月2〜3回ペースで再開し、8月初めには山形勤務時代の山仲間と神室山（山形県）の山頂避難小屋に平日1泊で登ってきました。



五ッ橋クラブ
林 秋夫(66歳)

「私の健康法と絵画」

定年退職後に始めたのが毎日に生活リズムをつけようと近くの公園でのラジオ体操でした。今年4年目ですが40代から80代の幅広い世代の方々とも親しくなり健康管理にも大変役立っています。高校から始めた油絵は今も描き続けています。今はコロナ禍ですが周りの方に支えられて、2年9月に17回目の個展を開くことができました。地域社会に貢献できるように試行錯誤を重ねて創作活動を続けていきたいと考えています。



五ッ橋クラブ
福原 雄(78歳)

「大切なのは健康寿命の維持」

コロナ禍の中での生活ですが、現状出来ない事も合わせ、3項目程記します。①旅行願望は時々写真を見て思い出す。3年前の英国旅行も、はるか遠い昔の様で世界の国々を自由旅行出来る日を想像し、可能になった時のため健康維持を。②運転免許証は有効な3年以内に、車の自動運転（5Gネットワーク等）の実現により、自動運転によるドライブ旅行を行いたい。③「男の料理教室」を年度内再開し、料理・会食・懇談が出来るようにしたい。最後に、安全・安心と健康第一に留意し、「健康寿命」の維持をと思っています。



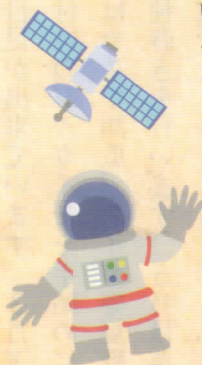
3年前に行った英国大英博物館



五ッ橋クラブ
藤井 繁(65歳)

「『はやぶさ2』帰還」

子どもの頃から星や人工衛星等宇宙に興味があった。目下の関心は、12月6日に小惑星探査機「はやぶさ2」が地球に帰還すること。2014年に打上げられ、約3億キロ彼方の「リュウグウ」迄飛行し、岩石を採取して戻ってくる。高度な技術とプロジェクトの英知結集の成果と驚嘆する。カプセルはオーストラリアの砂漠に着陸させ、探査機本体は新たな惑星探査をめざして更に飛行を続けるという。「はやぶさ2」との通信は長野県白田観測所の直径64mのパラボラアンテナが担っている。無線エンジニアとしてはこの巨大アンテナを是非見たいと思っている。因みに私の墓標には「宇宙」と記している。



五ッ橋クラブ
二ツ森勇幸(58歳)

「にんにく…」

はじめまして、二ツ森と申します。青森の米・にんにく農家育ちの58歳です。健康といったら、やはりにんにくですね。ここで少々にんにくの雑学などをひとつ…

①にんにくの芽は、本当のにんにくの芽にあらず。味がにんにくからその名らしい。②黒にんにくの作り方は、10日程度炊飯器で保温すると発酵して、真っ白なにんにくが「にんにくエキス」が濃縮された、黒にんにくに大変身。以上何かのご参考まで。



五ッ橋クラブ
吉野 勝美(77歳)

「私の近況」

私は1999年に退職し、第2の職場はTW所属で21年間NTT五橋ビルの受付警備業務に従事していました。その折には電友会、

いきいきネット、OBサロンの皆様には大変お世話になりました。昨年3月満期退職。自宅で外出自粛の生活ですが従前からの町内会役員・SG会ゴルフ・オレンジ歴訪会・退職者の会の手配りをする他、グランドゴルフ、詩吟、電友会報の手配りを追加しました。息切れしないよう頑張ります。



仙南OB会
八木橋行男(71歳)

「私の健康法」

健康維持を考えて仙台に週4日通勤しておりますが、古希を過ぎてそろそろ体力の限界を感じてきました。退職後は、ボケ防止と体力向上を目指し、夏はグラウンドゴルフ、冬は若き時代に夢中になったスキーで余暇を過ごしたいと思い、元年に2回スキーに行きました。しかし体力の無さを痛感し思うように滑る事が出来ず本当にシヨックでした。今年はスキーウェアも新調し改めてチャレンジしながら体力向上に努めていくつ

もりです。



仙南OB会
加川 新助(68歳)

「初めて見たキノコ」

少年野球に携わって23年、9月に練習へ行く途中山沿いの斜面に1本だけ白い物が見え、近づいたら「きのこ?」の様でした。写真を撮り、ネットで調べたら「キヌガサタケ」でスツポントケ属のキノコの希少種であるとわかりました。純白のレースをまといキノコの女王ともよばれ、食用にもなるので準絶滅危惧種等に指定されているところもあります。生まれて初めて希少なキノコを近くで見られたことに感動、今年はいいことがあることに期待します。



仙南OB会
大友 養市(73歳)

「楽しい野菜作り」

我家では、野菜は殆ど購入せず

自給自足が出来ています。3月下旬付けのジャガイモを手始めに4月はナスや胡瓜、スイカ等夏野菜の種蒔きを行います。5月は苺を収穫、スイカは8月に。8、9

月は白菜、玉葱、大根の種蒔きです。合間の雑草取りは大変ですがコロナ禍に依り行動が制限される中、野菜作りは土に親しむ心地よさが多大で運動にもなります。健康野菜作りをお勧めします。



健康には野菜作りがおすすめです



大崎クラブ
地村 恭介(91歳)

「元気で長生き」

退職後は我が家の庭づくりをしながら大崎クラブ地区役員をし、また大崎市統計調査員を12年務め宮城県統計協会会長より表彰を受

けました。私はパークゴルフが大好きです。大崎クラブのパークゴルフ愛好会の初代会長を務めました。週3回はパークゴルフ場に行きます。後期高齢者なので運転免許返納した為、会員の皆さんにパークゴルフ場まで送り迎えをお願いしてご迷惑をかけています。妻は老人ホーム7年、私は今91歳、パークゴルフをやって長生きするぞ。

ぞ。



大崎クラブ
今野千賀子(76歳)

「ガーデニングとフォトでエンジョイしています」

母屋から裏へ50歩程、船形山を背景に田んぼに囲まれた「憧れのイングリッシュガーデン」。畑だった土地を改良した生涯の楽園(自負)で今日もカメラ片手に花達を被写体に夢中でシャッターを切る毎日です。4年前、夫に先立たれましたが元同僚の花野果クラブの皆さんに会える楽しみも出来ました。17年目を迎えてもまだ完成の

ない庭ですが自分の健康法として
継続していきます。



イングリッシュガーデンを目指して



大崎クラブ
鈴木 源一 (72歳)

「住みなれた地域にデビュー」

25年前私も「8」にあやかり平成8年48歳で退職。ラーメン店を開業。現在に至っております。生産人口の仲間入りをしながら元気に過ごしております。開業当初赤ちゃんだったお客様が子供と一緒に来られた時など店はもう老舗の

域に入ったのかとビックリ? 人生

100才時代、お客様から元気を頂くと共に我が家の長老96才の父からも元気をもらい、私も活力の源、健康の源、情熱の源となるお年寄りの役目を目指し奮闘中です。



小牛田クラブ
信夫 文雄 (81歳)

「我が人生の岐路」

サンデー毎日の状態になってから7年目の70歳の目前から80歳目の10年間はまさに人生の岐路とも言える2つの癌との戦いの明け暮れでした。最初の癌は平成21年11月中咽頭癌で75日間の入院治療。2つ目は平成25年7月の横行結腸癌で検査入院も含め37日間の入院生活でした。入院先はいずれも県立がんセンターでしたが退院後も各経過観察が5年間も続きました。20年来お世話になってい

気仙沼クラブ
熊谷 省二 (76歳)

「リストラの、その先は…」

昭和38年4月埼玉県川口報話局機械職を皮切りに、鳩ヶ谷局、浦和東分局、48年10月宮城県小牛田局、57年7月気仙沼局から営業職へ、平成10年6月NTT仙台支店へ、そして平成13年12月、37年勤めたNTTを退職。オッサ家内の扶養となり主夫業に転職。私のサラリーマン人生は、最高の仲間に恵まれ感謝・感謝。
「リストラの 転職先は 主夫見習い」



栗原クラブ
後藤 政行 (76歳)

「最近感動したこと」

私は昭和38年4月、山形統制電話中継所城西分室に採用になり、約3年間山形で過ごしました。当時の先輩である、鬼澤範和さん・伊藤智章さんの名前を会報第86号

の同一ページで目にしたので。

山形霞城クラブ囲碁愛好会の大会で、準優勝・優勝したとの記事でした。お2人は、西も東もわからない私に、仕事は勿論、野球・麻雀・酒などの遊びまでご指導いただいた方々です。懐かしさのあまり思わず電話をして、日頃のご無沙汰を詫び、お互いに元気にやっている現況を語り合いました。山形では今でも12月に当時の仲間と酒を飲み交わしているとの由、私も誘いをいただき、今すぐにも行きたい! と思いました。以来、各地区だより欄は、目を凝らして読んでいます。懐かしい人の名前や思い出に出会えることを楽しみにしながら。会報88号記念号が楽しみです。



栗原クラブ
佐藤 裕 (72歳)

「趣味を生かした私の健康法」

单身生活が長く地域との交流が少なかった私ですが退職後、家庭バレーボール愛好会(ビニールボ

1ル)に誘われ、週2回午後から2時間程度練習しています。明るく・楽しく・元氣よく身体を動かす、筋力維持?に努めています。皆シニア世代、試合で勝つことより健康の話題が多く、特に「新型コロナウイルス」に感染しないための話題になると食事と運動そして体調管理や、3蜜の話で盛り上がります。健康が1番!と感じるこの頃です!



石巻電友会
若生 利治(90歳)

「元氣です」

健康寿命を保ちながら、どうか90才の大山を超える事ができました。70代の頃、物忘れがひどくなった時期は、2日前の食事など記憶を辿る日記を記して頭の健康を取り戻す努力を重ねたものです。体力が衰えてきた昨今は、40坪程の家庭菜園を相手に、作付け計画で頭を使い、鋤をふるって筋力維持につとめています。この調子だと、たまさか出かける温泉巡りも

当面楽しめそうです。



石巻電友会
塚本 道治(78歳)

「お久しぶりです。チョット愚痴ります!」

退職後は野菜作りを夢見て東松島市へ移住。1年目、畑とちよつとした農機具、物置小屋を準備。2年目は収穫(微々)をしました。3年目、持病の腰痛が悪化し歩行困難となりそれ以来、妻が1人で農作業を頑張っています。小生はリハビリを兼ね写真サークルに参加。しかし仲間の動きについていけず、シヨックを受けていたところ、写真仲間に励まされ、今は元氣になりました。ただ、「夢」は実現不可能のようです!!



石巻電友会
伊藤ふみの(81歳)

「私の趣味」

私は、1939年生まれの81才。

小さな田舎町の劇場で育ったせいか、歌や踊りが大好きな子供でした。当時は、中々お稽古ができる状況ではありません。入社した頃いとこが三味線の名取りになったのを機に芸事の基礎を習いに通い始めました。勿論無料。また、会社の同僚から誘われ民謡も。40才を迎えて念願の踊りを始めました。加えてカラオケも。今は、趣味を生かしてボランティア活動の毎日です。声がかかれば「はい、はい」と喜んで出向いています。



平成27年石巻グランドホテルにて

福島支部



福島地区電友会
菅家 紀男(78歳)

「民謡太鼓で頑張っています」

平成20年頃から郡山の民謡会の太鼓伴奏者として、郡山市を中心に二本松市等で「いきいきデーサービズ、老人ホーム、介護施設」等で年40回程の慰問のボランティア活動をしていますが、コロナの3密防止で残念乍ら昨年3月から活動を休止しています。いつもボランティアが終わりますと、沢山の拍手を頂戴し「太鼓が有ると調子よくて元氣も出るナイ」とか、私の手を握られて「また来てナイ」と感謝されたりします。私も、「趣味が元氣」と大きな喜びを感じ、コロナに負けず頑張ります。



福島地区電友会
柴田 哲(72歳)

「趣味は骨董収集」



骨董品収集は30歳頃に折衝業務で古い皿や壺を集める人に出会い話を聞いてワクワクしたのがきっかけで始めました。現在は日本切手や古銭、切符、皿、茶碗、氷カップ、オールドノリタケ、絵画、浮世絵、ソノシート、菓子の木型、着物の紐等を集めて、妻には「家の中はガラクタだらけで、やめなさい」と言われますが、ウランガラスはブラックライトを当てると綺麗な緑を発色し、見ていると心が落ち着くのでやめられません。偽物を掴まされる失敗もあるので美術館で本物を見て、目を肥やしています。よって、これからも続けることになるでしょう。



福島地区電友会
大戸 実(67歳)

「本に魅せられて」

休日を利用し日曜大工で小間物を作っていました。退職5年前に本格的に手道具と電動工具等の取扱いを受講・習得し、現在ではテーブル、キャビネット等の大物

を製作できるまでになり、注文も頂くようになりました。講習会でも知り合った異業種の方々とは現在でも親交を深めており、設計時の広葉樹種(檜、栗、柃、栓等)の本目の生かし方や完成時の見栄え等の情報交換をしています。現在は箱物以外に木工ろくろでパスタ皿、サラダボール等を製作し、仕上げに拭き漆を施し地区の文化祭に出品しております。



吾妻電友会
伊藤 邦子(79歳)

「大変?でも楽しい」

私、間もなく齢80年。心身ともにそれを感じるが、思い立ってパークゴルフを始めた。それが面白い、何故って「時々うまくいく」「気の合う仲間ができた」「すべてに無理がない(体力、財力、時間)」から見回せば若者はいないが、お手本になるような年齢を重ねた方はいいで、それが上手い。励みになる。里山サークルにも入り、よちよち?よれよれで山に登る。栗駒

山や日山(富士山の見える山)など。どっちもそりや大変、1か月過ぎると忘れてまた昇る。きつと続けているからだと言自分を褒める。何事ももう少し続けたい。続けていけば出来るかな?しかしそりや大変だ!



電電相馬クラブ
草野 拓也(78歳)

「皆様のお陰です」

私、元気です。ここまで元気でいられるのは、入社時からお世話になりお付き合いをしていただいた皆様のお陰です。平話中時代は新入社員で野球や組合活動を思い出し、仙台統話中は仕事が楽しかった。磐城富岡ではボーリングに夢中、盛岡は山菜取り。仙台、会津若松は観光地めぐり、原町は会社化、福島では仕事一筋?一関は夏油温泉、郡山は尾瀬へハイキング、再び福島は組織の変化と退職。その後、ドコモエンジニアリングにお世話になりました。これからは「やることがある」「行くとこ

ろがある」「会う人がいる」で生きたい。現在は電電相馬クラブの役員を微力ながら務めております。



電友あさか会
竹田八重子(88歳)

「私の近況」

米寿迄はと目標を持ち生きてきました。コロナ禍にて生活が変わりました。「女性専用フィットネスクラブ」の運動は、80歳代の人にはクラブから休会とされました。「山登り」は、周りに迷惑をかける内に87歳にて卒業。今は里山を歩いて花を愛でながら散策を楽しんでいます。夫の33回忌では小諸の墓地まで新幹線で日帰りしました。精一杯働いたので48歳にて仕事をリタイアし、現在はスマホを駆使しラインを楽しんでおります。山の仲間が終活の手伝いに2日間費やして下さいました。人生の後片付けは大変です。コロナ禍等に負けないで最後まで自分の足で動けるよう「心」して日々感謝して生きたいと思えます。



電友あさか会
宮城 哲彦(88歳)

「お爺さんの加護」

子供の頃お爺さんに連れられて沼・海に釣りに行きました。餌づけや釣り上げるのを見ていただけでしたが、楽しかったものでした。72才で逝ってしまったが子供心にも随分長生きしたと尊敬しました。私が還暦(老人の入り口!)・70才(まだター!)・80才(追い越した!)これもお爺さんからの加護・激励と思います。最近、ゴミ出しに10mも歩くと度々左右に振れたりすることがあり、これが老化の始まりかと複雑な心境にて日々を平穩・自然体で送りたいと思います。



電友あさか会
長久保澄子(88歳)

「平穩無事祈願」

昭和26年電気通信省入局。昭和61年N T Tを退職。35年勤めた中の思い出は昭和37年の「郡山局

自動改式」です。職場には郡山市

内初の冷房装置導入でした。磐梯熱海温泉「磐梯ホテル」の火事の時も忘れられません。私は宿直で21時に夜勤の人が帰ったあと、不眠不休にて頑張り翌朝、7時30分からの早番が出勤したときはホッとしました。今は公社以来の「友」と旅行・文学講座・宙ガール(星の会)等に勤しんでおります。80余年の間には空襲・地震・災害・コロナ禍と色々ありましたが、平和が一番と念じており、身体現状維持に心掛けております。



電友あさか会
伊東 幸(88歳)

「米寿の手習い」

少年時代から習った書道を通じて東京の「書海社」(大正10年創業)の本部役員を務め、80過ぎから支部役員として年に4、5回は中央の展覧会に出品し、今年10月には銀座「鳩居堂」の展覧会に出品する為制作中です。また、講師として成人講座・新年書初会・介護施設

設・小学校等に招聘されています。

「ペン習字」同好会も30年続いており文化祭等に出展し高評を受けています。平成20年度「電友会ボラントリーア活動賞」をいただき有難うございました。



白河地区電友会
鈴木三枝子(77歳)

「お花と私」

庭の秋桜が風に揺れる。とても可愛い。小さい頃から花が大好き。れんげやクローバーの花で髪飾りを作り、アカマンマの花で赤飯を作ってまごことをして遊んだことも懐かしい思い出です。大人になったら庭いっぱいにお花が咲く家に住みたいと夢みた我家の庭には四季折々沢山の花が咲き道ゆく人とも知り合って、あげたり、いただいたりしています。花の絆活動でも、皆さんにお花を届ける最高の笑顔で喜んでくれてお花を綺麗に咲かせて下さっています。心から感謝しております。



鈴木三枝子さんと庭の花々



会津電友会
兼子 修一(68歳)

「退職して3年」

皆さん、お変わりありませんか。平成29年8月退職の際、脊椎管狭窄症を患い歩行困難となり、脊椎管狭窄症とヘルニアの手術を行いました。手術後2年が過ぎた元年9月、生活上の制約がなくなったことから、10月にシルバー人材センターに加入。母校の喜多方市立第一中学校で事務員の仕事に就きました。大先輩の斎藤勇さんの

度々の勧めもあり、地域の一人として何かお手伝いができればと思います、12月に民生委員児童委員となりました。用務員の仕事は、毎朝生徒との挨拶のやりとりが清々しく元気をもらっています。どちらも今年の秋で2年目を迎え、とても健康で充実した日々を過ごしています。



いわき電友会
佐藤 健(85歳)

「私の目標」

私はゴルフスイングを日課のようにして八十路も峠まで来ました。庭の片隅に作ったネットとプラスチックボール使って暇さえあれば振ってきました。目標は5番アイアンで150ヤードを曲げずに飛ばすことだったので峠にきたことを機に、曲がらない球を打つことは諦めて、曲がらない腰を作ることしようと思いをかえました。やる事はあまり変わらないのですが、ラジオ体操の延長のようなつもりでやっております。



いわき電友会
加藤 勝彦(74歳)

「夢中になれるものの継続」

NTTドコモを最後に退職し、先輩の勧めにより地域のグラウンド・ゴルフクラブに入会。週2回の定例会で仲間とプレーに励んでおります。ホールインワン時の高揚感と引き換えに、1000円を会に納めるのですが、皆喜んで納めてくれます。指標となる目標に向かって技能を磨きクラブコンペや市・県の各種大会に参加、仲間との交流を深めております。

岩手支部



盛岡電友会
佐藤 正(67歳)

「私の朝の1コマ」

「おはよう」「おはようございます!」元気な声、少し沈んだ声。友達と仲良く話しながら歩く子、

1人でトボトボ歩いて行く子。いろいろです。3年前退職と同時に参加した小学校見守り活動の朝のひとコマです。退職後自分の生活のリズムを持ちたいと思い始めました。通学路の交差点で朝は7時から8時頃まで。生徒たちが安心して登校できるよう、そして自分自身の健康のためにと続けます。



盛岡電友会
近藤 茂雄(73歳)

「1日1万歩が私の健康法」

17年前にNTT東日本を辞めて令和3年3月末までの有期雇用(73歳)で第2の職場で働いています。勤めが健康寿命を延ばしていると思います。1日約1万歩の歩行は適度な運動になっています。更に職場で若い社員から受ける新しい刺激やたまにある仕事上の軽いプレッシャーは、働いていることを実感していく上で必要なものと受け止めています。新型コロナの関係で経験した在宅勤務もそのひとつです。



花巻電友会
神山 佑治(76歳)

「近況」

オリンピックとアメリカ大統領選がある年にしか誕生日が来ない私に、2年2月、19回目の誕生日が訪れ、嬉しい事に私を知る多くの皆様から喜寿と併せて祝いの電話やメールをいただき、4年に1どの誕生日も満更悪くないなとほくそ笑みしました。退職後は腰痛と肺癌に見舞われましたが、現在は電友会役員や地域活動、そして130坪の畑で顔を増々黒くしながら趣味と実益を兼ね野菜作りを楽しんでおります。



花巻電友会
市川 牧子(71歳)

「マスターズ水泳大会参加」

退職後、腰痛改善や介護の気分転換に水泳を始めた。70歳で初め

てマスターズ水泳大会の25M自由形・背泳ぎに参加。最下位だったがとても充実していた。また、80代〜90代や車いすの方が参加している姿を見て勇気づけられた。今年はいくつかマスタール50M・100M種目に参加したい。何歳になっても挑戦できるのが水泳の良いところ。私も以前より肩や背中、筋肉が大きくなった。80歳まで大会に出たいと思い、食事にも気を付け日々すごしている。



北上電友会
川辺 邦子(76歳)

「若草会」

平成20年6月より介護施設のボランティア慰問をしようと若草会を結成。最初は4名で始めました。先輩3名は新舞踊の名取、私は南京玉すだれの認定証を頂いた時期でした。現在会員は5名で新舞踊、ギター、尺八、南京玉すだれを公演し今年で13年目を迎えます。年間7、8回延べ97回になります。コロナ禍のため100回に到って

おりません。ボランティアは己の為と思いいつまでも行けるよう各自練習を重ねております。



ボランティア慰問「若草会」のメンバーと



北上電友会
鎌田 稔(68歳)

「近況報告」

退職して3年、会長として半年が経過しました。新型コロナ禍で各種行事は中止となり、会員相互の交流の場が持てず不安を覚えています。高齢化等による会員数の減少もあり、今年度から電友会とNTT労組退職者の会の連携を密

にし、事業運営等もお互い協力し合いながら活動することにしました。今後は、会員の生き甲斐作りと健康増進を第1に活動を押し進めて行きたいと考えています。



宮古地区電友会
齋藤 浩三(68歳)

「人生88(パチパチ)!」

パチパチと云えばパチンコではなく8歳で覚えた将棋。歴史は60年。思い出も多い。藤井七段の活躍で将棋界は元気でも将棋ができる環境は少なく相手がいない。しかし今はスマホ。ソフトでAIと対戦ができる。コロナ禍で回数も多い。そして私は常に連戦連勝だ。何故なら勝つまで「待った」が続く。愛車の番号は「88」、私の誕生日。大震災で行方不明、台風10号では水没。災害も疫病も無縁でありたい。二拍手、神に祈るのみ。



宮古地区電友会
三浦 キヨ(79歳)

「80歳。ヤレヤレ!」

もうすぐ八十路。5年程前に「後期高齢者になる」という原稿を書いていた。月日は早い!電友会事務局を15年勤めました。元年は東北地方本部長表彰を頂き感謝しております。事務局も齋藤氏へ引継ぎ、やっと解放されました。今は赤字続きの映画生協で上映活動のお手伝い、また町内会の老人クラブでりんご狩りや産直巡りに出かけ楽しんでます。ヤレヤレの80才です。皆さん映画鑑賞をして下さいませ。スクリーンを失くしたくない!!



釜石地区電友会
平野 裕子(80歳)

「伝統芸能長唄三味線」

私は「杵家釜石」の会員として40年余り長唄三味線を習ってまいりましたが、10年ほど前から文



科省の方針による「中学生の伝統芸能学習」で、市内中学校から当会に長唄三味線の指導依頼がくるようになり、師匠以下会員が赴いて指導しております。その際、会員が模範演奏を披露しますし、他の演奏行事のためにも自分の稽古が大切ですので、八十路の老体に鞭打って励んでおります。



釜石地区電友会
菊地 繁子(83歳)

「趣味と私」

長い人生、いろいろやりました。4年前からつるし飾りの美しさにひかれて手芸教室に入りました。外に出られない事を良い口実に今は毎日作品作りに夢中になり、時には手を休め気分転換にテレビ体操をして大いに楽しんでます。またコロナでは沢山の手作りのマスクを作り、みんなに使って頂き喜んでもらえて嬉しかったです。今はただ、1日も早いコロナの収束を願うばかりです。



おおふなと電友会
佐々木 享(64歳)

「私の余暇」

退職後、健康のためウォーキングをしていたが、地域の方からグラウンドゴルフに誘われ、市GG協会に入会し、3年半が過ぎた。始めて3ヶ月目の定例会で「まぐれ優勝」し、今では我が家の居間に14個のトロフィー・盾が鎮座しています。練習は月曜を除くほぼ毎日、先輩の方々と和気あいあいと楽しくボールを打っています。昨年からは協会事務局長となり、会員の拡大やルールやマナーの徹底に取り組んでいます。



おおふなと電友会
寺澤いく子(77歳)

「1日も早いコロナの終息を!」

お久しぶりです。元氣ですか。昨年3月よりコロナ感染拡大のため、週2回遠出のウォークも趣味の会も、そして同期に退職した仲

間達との定例昼食会も殆ど自粛。姉と楽しみながらの家庭菜園は鹿に襲われ、網で囲いを高くしたのに、今度は下から網を食いちぎり食事に来る小動物にがっかり。秋蒔き作業から辞める事にして、今は自宅巣ごもり生活です。懐かしい写真を眺め、早くコロナの完全終息で皆さんにお会いし、お礼が言いたいです。



おおふなと電友会
及川 彌(77歳)

「私の健康法」

東日本大震災の後、新型コロナウィルスと気持ちを暗く沈ませ、行動が制限される日常生活の毎日である。震災後目標を立ててボケと体力の衰えを鈍化させるため、趣味(詩吟、将棋)と野外運動(散歩、気仙の霊峰五葉山登山、グラウンドゴルフ、ゴルフ)に活路を。特に散歩に浪板海岸まで往復2時間かけ、歩きに1時間20分とストレッチ。海に向かって大きな声で詩吟を唸って、笑いの生活を心

掛け、100歳時代の仲間になりたい。



遠野地区電友会
三浦 弘明(67歳)

「近況報告」

退職後は野菜作りと登山でのんびり過ごす予定が1年目に椎間板ヘルニアで入院手術となり右足に後遺症が残り、登山はあきらめて毎日土いじりの生活です。令和2年は草地を開墾し、ビニールハウスを建てることに。コロナ禍でホームセンターへの入荷は2か月遅れでしたが、大きな石3個はお隣さんのバックホーで撤去し無事完成。夕方、草刈りで汗をかき、風呂に入って枝豆(秘伝)でビールを飲むのが至福の時です。



遠野地区電友会
多田 昭子(77歳)

「日々感謝」

会報88号の節目に、偶然にも喜

寿を迎え、NTTより思わぬお祝いを頂き感謝しております。振り返れば古き良き時代であり、会社と多くの仲間を支えられて来ました。会社の変革もありましたが、今日あるのも在職時の努力の賜物と思っております。また、長きに渡り、NTTと仲間の絆が現在も続いている事に感じます。後期を迎え、余生を自作と身近の整理に苦心し、1日1日を噛みしめるように過ごしております。



水沢地区電電友の会
鎌田 津悟(72歳)

「コロナウイルスに思う」

新型コロナウイルスの感染者ゼロが、国内最後まで続いた岩手。否が応でも緊張の毎日である。県外ナンバーの車を見ると気になる。感染症は人格を変えてしまう。まさか大震災と世界的な感染症まで経験するとは…。野菜作りを趣味としていたが借地の畑も返却し、灯油節約のために「薪ストーブ用燃料(薪)」作りに励んでいる。人

類全体に死に至る感染症がはびこり、右往左往する各国のリーダーを観察する。Go toトラベル・イートとも無縁。これらの費用は平等に国民が税金で支払うのか。せつせと、手洗い・人込みでのマスク・手指の消毒。これが我が家の日常だ。



水沢地区電電友の会
千葉恵保子(73歳)

「母の想い」

元年の12月、都会に住む息子から「今年は皆で年越ししよう」と言われ、2つ返事でOKしたが新型コロナウイルス禍で帰れなくなつた。赤信号の出ている都市部から感染者ゼロの岩手には絶対帰れない。息子は昨年3月からテレワークで在宅という。解雇? 聞くに聞けない。私は肩が痛くなり整骨院へ通い始めた。息子が解雇になつていなかったとわかり、安堵したとたん肩の痛みが消えた。息子はまだまだ岩手には帰されそうもないが、家族皆で見上げた国際宇

宙ステーションの「希望の光跡」を追いかけながら、家族皆で過ごせる今を大事にしたいと思つた。

「彫刻刀で暇つぶし」

コロナ自粛期間は、丸太運びに薪割りにと忙しく汗を流しております。また適当な材木も手に入り雨降りなどは家で彫刻刀を手にも削つて、暇を潰しています。先日「鶴瓶の家族に乾杯」で見た、井波彫刻の雲棚を真似てみました。どうでしょう。

水沢地区電電友の会
後藤 光男(68歳)



井波彫刻



いちのせき電友会
吉田 喜春(76歳)

「断捨離」

当市一関には、かの有名なジャズ喫茶「ベアシー」があります。客の9割は他県からでベアシー詣という言葉があるほどです。私も若かりし頃は入り浸りでした。退職後はLPレコードを聴く趣味を復活させ、50、60年代のジャズを毎日2時間位、レコードにして両面2枚ほど聴きながらレコードの整理をします。アーティストをABC、録音年月順として現在作業中です。世の中断捨離はやりと聞きますが、この件に関して望みなしです。



いちのせき電友会
菊地真知子(68歳)

「健康と平凡が一番」

退職後19年。天災、病気等色々ありましたが元気に過ごしています。主人のリタイア後は2人で近

場から海外迄旅行が趣味のひとつとなりました。今回のコロナ禍迄はクルーズも楽しみのひとつに。余談ですが例のダイヤモンドプリンセスに2019年の3月に乗船していました(笑)。もし昨年の乗船だったらと思うとゾッとします。安心してクルーズが楽しめる日迄健康第1で過ごします。最後に、何の縛りもなく皆様にお会いできる日が早く訪れますようお願いしております。

青森支部



青森地区電友会
三上 静子(74歳)

「楽しく元気に!」

看護職を55歳で辞めて専業主婦になり令和3年末で20年になりました。子供達が社会人になってからは、旅が楽しみでした。スキーと遠征、ゴルフと遠征、山と秘湯や温泉の旅、都会を楽しむ旅、級友達との旅、海外の旅等を折々楽し

んで来ました。ところが昨年3月から4月、腰椎を痛めて入院。5月末にやっとゴルフが出来ました。心身を整え、「貯筋」し、楽しく元気に旅も再開しています。



青森地区電友会
館山 生木(72歳)

「寿大学・大学院の思い出」

青森市では、高齢者の生涯学習のために「寿大学・大学院」を開設しています。総勢550名の方々が学習しています。私は平成26年4月に寿大学に入学し、平成31年2月に卒業。同年4月に寿大学院に進み、このほど卒業単位を取得しました。大学院1年生の時は学級長を務め、併せて合同連絡協議会(学級長会議)の会長も務めました。素晴らしい人たちの新たな出会いに恵まれ楽しい思い出が沢山ありました。学習を通じて青森市民憲章にある「楽しく学び生き甲斐を感じる街にしましょう」を実践できたと思います。これからも…。



青森地区電友会
堀川 賢一(79歳)

「退職後の日常生活」

退職して24年、趣味を楽しみながら社会貢献活動に積極的に参加し、忙しく充実した日々を送っている。趣味は洋蘭づくり。1番好きな「カトレア」の可憐さに心を奪われ、青森県蘭友会理事として蘭展の開催に力を注ぎ、蘭のすばらしさを味わっている。囲碁(3段)は、30数年まったく上達することなく、へぼ碁を週3回打っている。ゴルフは、フォームが余りにも変則だと言われるが、自己流を貫き通している。NTT-OB青森県ゴルフクラブで会長を長く続け年1回の北3県持ち回り大会で親睦を深めている。社会貢献活動は久須志神社総代を長年続け、碁はボケ防止、ゴルフで健康維持? 洋蘭は心の栄養になると勝手に思い込んでいる。



弘前地区電友会
内山 清栄(72歳)

「近況報告」

昨年は6回目の年男。良い年にしたかったのですがコロナ禍で祭りやイベント等が中止となり残念でした。9月頃から徐々に再開され、私が競技役員をしている陸上競技大会も再開され、高校女子ハシマー投げと85歳以上リレーで日本新記録を出しました。防災士活動でも市町村の防災訓練が中止となりましたが、弘前市ではコロナ禍における避難所開設訓練が実施され参加しました。テレビ局等のインタビューを受け、ニュース放映や新聞に掲載されました。知人や友人にテレビ観たよと言われ少し嬉しくなりました。これからはボランティア活動を頑張っていきたいと思えます。





弘前地区電友会
小山内州平(68歳)

「目下の目標」

晴耕雨卓、花見と花火が私のライフワーク。晴れた日は畑で汗をかき、雨の日は卓球で体力向上。春は桜、夏は花火で心の洗濯です。大曲全国花火競技会では10号玉のドーンという響き、大会提供花火の華やかさに毎年感動。ゆつくりと車中泊の後ひなびた温泉でゆったり。第100回記念大会迄連続鑑賞が目標。第94回がコロナのため1年延期に、私の寿命も1年伸びた?アマビエ様に疫病退散祈願。新しい形で花見、花火大会ができますように。

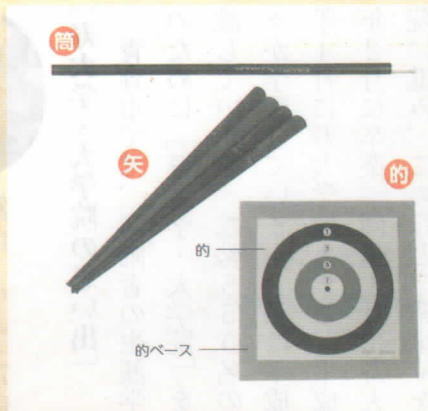


八戸地区電友会
葛西 征三(76歳)

「元気の源『吹矢』と共に」

私は週一回公民館で「吹矢」を指導しています。筒に矢を入れて大きく息を吸い、的に向けて一気

に吹く、この時の腹式呼吸法が健康に大変良いのです。また、精神力と集中力も高めるので心がスッキリします。コロナ禍の現在は全員集まっただけの練習は中断しているので自宅で妻と2人で楽しんでいます。吹矢は誰でも、どこでも、いつでも手軽に楽しめます。筒・矢・的があればすぐに始められる吹矢を皆さんも始めませんか!



吹矢はこの3つあればすぐに始められますヨ

山形支部



霞城クラブ
橋本 郁子(66歳)

「楽しさ『いっぱい』」

NTTでは楽しく働かせて頂き退職後は電友会に入会。趣味のパッチワーク布紗やグラウンドゴルフでサークル仲間と楽しい日々を過ごしております。他にも着物着付けやビーズ織り教室に新日本舞踊...。おまけに孫の習い事への送迎と大忙しです。コロナ禍の中、検温とマスク着用で趣味等を楽しむのも心配りがあり大変。健康第一に普通に暮らせるのが何よりですね。常任幹事として微力ながら活動に参加しております。これからも宜しくお願い致します。



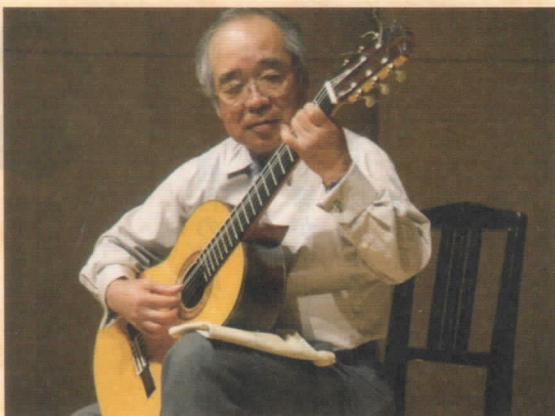
趣味のパッチワークです



霞城クラブ
山口 仁陸(75歳)

「ギターに魅せられて」

私がギターを正式に習い始めた



ギターとの繋がりは50数年来です

のは、「禁じられた遊び」の名曲を聴いてからでした。山形のギターの偉大な先駆者、故武田四郎先生と東京の兼古隆雄先生の手ほどきを受けた。先生曰く「練習しないのが一番楽でんびり出来るが練習しないと好きな曲は弾けないし上達は望めない」それ以来、50数年山形ギター連盟に所属し、春はスプリング、夏はサマーコンサート、秋はメインの定期演奏会(令和2年の第62回はコロナで中止)冬は各教室の生徒を中心にした発表会等でギターとの繋がりを続けています。



霞城クラブ
浅海 憲夫(76歳)

「ふる里の山が『山形県の百名山』に！」

子供の頃は、遊園地もなければ遊び道具も少なく、神社の境内や空き地でボール遊びをしたり、近くの山や川に行つて、木に登りカラスの巢をのぞいたり、川ではカジカ、ナマズなどを捕まえたり、朝から夕方薄暗くなるまで遊んでいた。親も「勉強しろ」などと怒ることもなかった。そんな子供のころよく遊びに行つていた長谷堂の「城山」が「山形百名山」に指定されびつくりした。山形県内には有名な山が沢山あるが、西暦1600年石田三成(西軍)側の直江兼続と徳川家康(東軍)側の最上義光が激戦を繰り広げ、10倍以上の上杉軍の侵攻に持ち堪えたことから、歴史的な山として選ばれたようだ。



霞城クラブ
東海林栄子(74歳)

「あの頃、そして今」

退職後「40過ぎたらスーパーのレジか清掃員の仕事しかないよ」と言われたことがあり、世間知らずの自分を反省し介護ヘルパーの資格を取得。老人施設等でボランティア活動をしました。その後、全身に痛みが出る関節リウマチを発症し手術。治療を続けながら、現在は、山形市の観光ボランティアガイドと重要文化財の旧県庁文翔館でガイドをしています。能面にも魅せられて面打ちに挑戦中です。押し絵の作品作り等も近くに住む孫育てをしながら楽しんでます。



霞城クラブ
設楽 雅信(70歳)

「徒然に想う」

退職後の「日本縦貫スケッチの旅」は無惨にも夢破れ去った。青春は

短い。現在は人権擁護委員として

人権相談・人権教室、男女共同参画委員にも従事している。地域では町内会長を仰せつかり、微力ながらも住民や関係者と交流を重ね進めている。また県美術連盟の活動や各美術展・絵画教室等が続いている。尚一層絵画制作に力を入れている。

真に時の立つのは早い。この世は諸行無常という。人生もまた然りである。



村山クラブ
佐藤 康夫(72歳)

「果樹農家サポーター」

夫婦での親の介護が終わった後、シルバー人材センターの勧めで、果樹管理講習会を受講し「果樹農家サポーター」の仕事を始め6年になります。5月から7月はサクランボヤリリンゴの管理作業です。盆過ぎからはフルーツセンター共選場で、果樹農家が収穫した果実の出荷に向けた一連作業が12月まで続くのです。6年も継続できた

のはここで働く仲間の支えと、妻の手造り弁当に癒されたお陰と感謝する日々を送っています。



村山クラブ
水田ミツ子(69歳)

「私の味噌作り」

退職したばかりの頃、友人に誘われて味噌作り講習会に参加しました。それから20年味噌づくりを続けています。私のこだわりは、味噌を密封容器に入れ、最後に雑菌繁殖を防ぐため、ねりがらしを小皿にいれておくこと。ひと晩水に漬けた豆の皮を1粒1粒むくこと。秘伝豆を使っていますが、畑を借りて自分で作ることで、1年以上置くと熟成した美味しい味噌が出来上がります。

「女子会できました」

かかし会で里山歩きに参加して

上山電友会
設楽 和子(78歳)

いたのは昨日のように思え懐かしさを感じます。足腰の衰えて山歩きを断念し、引きこもりになりそうまで心細くなりました。そんな時がかし会の女子が何かできることがあるればと、有志で話し合い発足したのが女子会です。ところが、コロナ禍で活動も思うようにならず今は少しづつでも動ければと、風呂入りとランチ会等、密にならないようにして近況を語り合っています。今後は出席できるOB会員まで拡大できればと思っております。



電友会さくらんぼ
阿部 考記(76歳)

「私達の生活が一変し」

経験したことのない新型コロナ禍で私達の生活が一変しましたが日々の生活の中では気付かされる事が多々ありました。それは、我が町の精神科医の小原先生が講演で話された、生きていく上で大事な事は何か、を思い出したことです。人生には遊びが大切というこ

と(車のハンドルに遊びがあるように)①1人遊びができること。(1人で夢中になれる趣味等を持つ)②2人〜3人遊びができること。(仲の良い友達を持つ)③多勢遊びができること。(サークルや種々の集いに参加する) 新型コロナ禍の中で、1人遊びが必要だとつくづく思いました。大阪に住む孫達にも会えない中で旅のプラン作りに熱中している私です。



酒田電友会
五十嵐喜久男(88歳)

「私の健康法」

88歳「コロナ禍」で自粛々々のこの頃ですが、私の楽しみはグラウンドゴルフです。毎週木曜日はOBの仲間達と、月・水・金曜日は地域の同好者との練習日です。妻からはプロゴルフファーマイトと笑われております。大した運動量ではありませんが奥深く、たまにホールインワンなどすれば拍手を貰い、時には笑われ、会話も弾み多くの友達もでき、私の「元気の

源」ともなっています。年寄りには「閉じ籠り」が大敵です。1日も早くコロナの収束を祈りたいものです。



酒田電友会
前田 哲夫(90歳)

「私の健康法」

グラウンドゴルフを始めたのは平成4年、今年で28年になるが一向に上達しない。当時のメンバーは少なくなつたが、伝統を引き継いだ仲間との交流は楽しく、今も週1で遊んでおります。最上川にかかる出羽大橋と両羽橋の間が私の散歩コースで、天気と相談しながら健康維持のため歩いていきます。また、ボケ防止を兼ねて「数独」とも仲良くしております。



電友会おいたま
鹿保 祥一(76歳)

「第二の青春」

退職してNTTの世界から飛び

出した自分は、多くの異業種の皆様との交流によりこれまでにない心身のパワーと新たな知識、沢山の喜びを頂いております。趣味はパークゴルフ、写真、卓球、そして少しでも自慢の米沢藩古式砲術保存会(稲富流)の一員としての火縄銃射撃演武です。多くの仲間からニツクネームで「マタちゃん」と呼ばれ、76歳第2の青春を謳歌しております。



電友会長井
山口 修二(73歳)

「待っている人のために…」

ある講習会で「人生健康を保つには教養と教育が大事」という話を聞いた。年老いて知識を得るためでなく「今日用がある」「今日行く所がある」ということだそうです。私は定年後即長井シルバール材センターに登録をしました。主に刈り込みと雪囲いです。刈込は真夏の暑い中、雪囲いは冬の寒い中の仕事です。とても年老いてからする仕事ではありません。が、

愚痴はいえませんが。発注者が季節をみて注文しそれを待っているからです。老体にムチ打って、忙しく動き回ることが健康の秘訣と自分に言い聞かせています。

秋田支部



千秋クラブ
菊地 仁(68歳)

「釣りが高じて秋田港有効活用協会専務理事に」

「秋田港有効活用協会」が発足し、常任理事(ボランティア)に抜擢されました。3度の飯より「釣り」が大好きな私に3年前に「釣り東北」佐々木会長より熱い誘いを受け活動していましたが、課題も多かったです。念願叶い、秋田港北防波堤が昨年の8月から有料釣り場として開放されています。東北電友会会員の皆様、是非1度は来てみてください! クロダイ、スズキ、ヒラメ等々沢山の魚種が釣れますよ。詳しくはホームページ

ジで。



秋田県北地区電友会
小林 喬(78歳)

「長年の付き合いが出来ず残念!!」

元年11月30日まで、民生児童委員を12年間行つて来ました。受持ちは約150軒でした。元年12月4日、大館市社旗福祉大会で「永年民生委員として大館市社会福祉協議会会長賞」を頂きました。長年お付き合いした方々と今後は、お友達として「お話が出来るなあ」と思っていた矢先『新型コロナウイルス感染症』騒ぎで訪問も出来ず、非常に残念で仕方ありません。今年こそ、コロナが収まり再会出来る事を夢見るこの頃です。



秋田県南地区電友会
細川 幸實(77歳)

「悔しい」二年間でした」

私と仲間達で年に多い時は30回程施設慰問を行っています。「よ

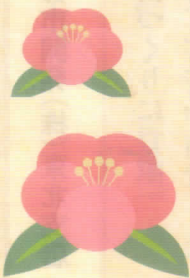
こて文化箏かまくら会」「朝友会」等有志が集まり「南京玉簾」「歌」「女性はもとより、男性陣の踊りも披露」等施設の皆さまに大変喜んで頂いて居ります。私は仲間と一緒に「文化箏」の演奏を担当しています。昨年は新型コロナウイルスで1回も活動出来ませんでした。老人ホーム等が多く自粛の年で残念でした。今年は施設よりの声が掛るのが楽しみです。



右端が私、唄っているのが妻です。今年施設慰問の声が掛かるのが楽しみです。

特集号編集委員会から

「元氣発信!」ご投稿の皆様、有難うございました。多方面での活躍に感服しながらの楽しい編集作業でした。特集号の原稿は200字以内でお願いしておりましたが、いただいた原稿は200字以内で文章をまとめた方や思いが溢れて200字では収まらなかった方など様々でした。ページ数が決まっておりますので、一部の方々については添削させていただきました。88名の方からのご投稿でしたが、原稿用紙が数枚になった方については73ページからの「随想コーナー」への掲載と致しました。お忙しい中ご投稿くださった皆様、心から御礼申し上げます。



賛助 会社編

NTT宮城事業部様、賛助会社様からも「元氣発信」のご投稿をいただきました。人、商品、仕事、社会貢献等の内容は、改めて今のNTT様や賛助会社様の仕事内容、そして、新しい時代を見据えて進んでいく姿を知ることができるのではないのでしょうか。

(株)NTT東日本ー東北

「コロナ禍の影響」

コロナ禍の影響でNTTの働き方が様変わりしました。「出勤してオフィスで働き、対面で社員に接する」という働き方から、「自宅で働き、非対面で社員に接する」が中心となっています。コロナウイルス感染防止のため社員同士の接触を避け、週に2回程度在宅勤務を行うなどということは初めてのことです。このような働き方になるとは…。社員同士も対面で相手を感じながら会話ができるよう、コロナ禍が早急に終息し、世の中が平穏になることを願っています。

NTTコミュニケーションズ(株) 東北支店

「自由に働ける環境整備」

NTTコミュニケーションズでは、2018年度から社内でのIT環境やツールの見直しを行い、それまで用途に応じて使っていた様々なコミュニケーションツールを統一するとともに、高度なセキュリティを備えたノートPCを配備し、いつでもどこでも自由に働ける環境を整備していたため、新型コロナウイルス対策のための全社的なテレワークの導入も円滑に実現できました。現在も社員の約70%がテレワークで日々業務に取り組んでいます！

NTT都市開発(株)東北支店

「東北の街づくりに貢献」

今年東北支店が開設されて3年を迎えます。東北の街づくりに貢献することを目標に、第1弾プロジェクトとして旧中電ビルの再開発に取り組んでいます。新ビルでは、次世代の新しい働き方ができる環境を提供できるようNTT各社と連携し検討中です。既存ビルのテナント様からは、コロナ対策として事務所内装変更・会議室追加等々のご要望を受けております。コロナに負けない快適なオフィス環境の提供に向けて取り組んでいます。

共立建設(株)東北支店

「社会生活基盤を支える」

当社は1956年に設立され、電電公社・NTTの通信施設や局舎・住宅等を建設してまいりました。また「街をつくる 人をつなぐ 技術をいかす」をキーワード

に、養護老人ホーム等の社会福祉施設・保育園や大学等の教育施設・マンション等の集合住宅・スーパーマーケットやオフィスビル等の商業施設を多数建設しています。これからも社会基盤や生活基盤を支える総合建設業として社会に貢献できる企業を目指してまいります。

きらら保険サービス(株) 東北営業支店

「弊社の自慢」

弊社の自慢は、諸先輩方の安心・安定に寄与する観点から、損害保険の「でんちゃん」、自動車保険の「あんしん太助」をはじめ、各種保険商品の提供にあると思っています。男女の平均寿命84・2歳(WHO世界保険機関統計より)、世界一の長寿国となっている日本において、皆様方の元気が我が国を支えているといっても過言ではありません。今後とも、皆様に貢献できる商品のご案内に努めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

**(株)第一ヒューテック
東北支店**

「創立70周年の決意」

弊社は一昨年、創立70周年を迎えました。「良い建物を、早く、安く、安全に」をモットーに、誠実・迅速・正確な仕事でお客さまの信頼に応え、優れた技術で人と環境に優しい社会の創造に貢献する企業を目指し続けてまいりました。2020年は新型コロナウイルスの影響により、一部事業に変更に生じていますが、事業を停滞させることなく社会に与える影響に責任を持ち組織活動を推進しております。今後より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(株)ミライト東北支店

「顔の見えるミライトを目指し」

オリンピックが1年延期となりマスコットキャラクター「ミライトワ」は更に有名になると思われませんが「ミライト」という会社を知っている人はどれだけいるので

しょうか?今、事業以外に「お客様」「地域」「家族」から顔が見える企業を目指して、長町地区の清掃活動(月1回)、献血活動(年2回)等、社会活動を少しずつふやし、地域と共に歩む企業を目指していきます。

大和電設工業(株)

「会報88号に寄せて」

あけましておめでとうございます。当社は昭和24年の起業以来、東日本大震災ほか多くの困難に直面してまいりましたが、いつの時代においてもNTT様はじめ電友会の皆様からのあたたかい励ましとご指導のお蔭で、令和元年に創業70年を迎えることができました。改めて感謝を申し上げます。

**テルウェル東日本(株)
東北支店**

昨年はコロナ禍や豪雨災害など心配事が絶えない1年でしたが、会員の皆様にとって今年が良き1年になりますことと、電友会の益々のご繁栄を祈念しております。

「祝88号」

平素より弊社事業に対し格別のご支援とご協力をいただき誠にありがとうございます。また、電友会会報88号発行に敬意を表するとともに、お祝い申し上げます。

弊社においては、今般の新型コロナウイルスの流行により、お客様に対し「コロナ禍での新しい働き方、ニューノーマルに対応した働き方の推進」として、感染防止対策に配慮した3密防止のオフィス空間構築等を提案させて頂いております。新型コロナウイルスエンザと流行時期ですので、どうぞお体に気を付けて下さい。

日本メックス(株)東北支店

「建物のスーパードクターとして」

私たちは建物の「スーパードクター」としてビルオーナー様の資産価値を高め、建物の長寿命化を使命として持続可能な社会の発展に貢献します。コロナ禍の中、当社の飛沫感染防止対策の一例として、事務所を物理的に間仕切した他、作業拠点を分け、社員同士の

接触を極力避けるなど、万が一感染者が出た場合でも業務を継続できる体制作りを行っております。また、当社は空調設備の改修提案等でご協力させていただいております。

日比谷総合設備(株)東北支店

「我社の現況について」

昨年から新型コロナウイルス感染防止対策で、勤務形態が大きく様変わりです。テレワークは勤務者の約4割が実施しており、事務所は閑散としています。事務室に飛沫感染予防のため、机にはアクリルボードを設置。感染防止に努めています。東京へ行くリスクを低減するため、会議はiPadによるZOOM会議に切り替え、東京に行く機会が激減です。個人的にも、週末は家でじっとしており、家飲み回数が増えてしまいました。

(株)NTTネクシア東北支店

「コロナ禍の早期収束を願う」

新型コロナウイルス第2波の影響や拡大が懸念される中、健康福祉やライフライン業界に従事されている皆さまに敬意と感謝を申し上げますとともに、日頃より不便、不安な渦中で、会員の皆さまにおかれましては心よりお見舞い申し上げます。一日も早い収束とご自愛を心よりお祈り申し上げます。

**(株)NTTドコモ東北支社
(株)ドコモCS東北**

「活力ある日本をめざす」

ドコモ東北グループでは、安心と幸せに満ちた、活力ある「Smart Comfortable 東北」の創造を事業運営方針に掲げ、パートナーの皆さまとともに最先端のICT技術を安心してそして心地よく導入し、地方創生・社会のスマート化に貢献します。そして、自らが成長し地域とともに持続的成長を実現することで、活力ある日本をめざします。

(株)TTK

「地域と共に」

当社は「地域と共に歩むTTK」をキャッチフレーズに地域貢献活動に取り組んでいます。中でも仙台国際ハーフマラソン大会への協賛は第16回大会から行っており、杜の都を駆け抜けるランナーとともに大会を盛り上げてきました。去年は新型コロナウイルス感染拡大により中止となりましたが、今年の第30回の記念すべき大会に向け、引き続き地域社会のスポーツ振興に貢献して参ります。それでは、第30回大会で。元気に、笑顔で!

(株)協和エクスオ東北支店

「会報88号に寄せて」

新年おめでとうございます。昨年は、コロナ禍の中、サーマルカメラやテレワークの推進など新しい働き方を模索する1年でした。またNTT様のご指導の下、安全品質の向上や受注拡大に取り組みで参りました。一方、国交省東北地方整備局様から工事成績優良会社としての認定を、宮城県から「女性のチカラを活かす企業」の認定

を新たに受けたところです。今年もこれらの認定に恥じぬようNTT様と一体となり電気通信事業の拡大に取り組みで参ります。

(株)NTTアド東北支店

「お客様のマーケティングに貢献」

コロナ禍が続く中、当社はNTTグループのハウスエージェンシーとして、NTTグループが目指すデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進、スマートワールドの実現に向け、従来のリアルな広告、イベントで培ったノウハウと、新たなデジタル分野での知見を最大限活用して、より迅速かつ大胆なチャレンジのもとお客さまのマーケティングに貢献していきたくと考えています。

**NTT・TCリース(株)
東北支店**

「新たな船出」

我々NTT・TCリース(株)は2020年7月からNTTファイナンス(株)からリース事業を切り出し、新たに船出いたしました。

た。コロナに負けず、総勢31名、東北6県を駆け巡り、会員の皆様の幅広いネットワークをお借りし東北の経済活動を少しでも元気にすべく微力ながら頑張っています!引き続きご支援の程宜しくお願いします!皆さん、これからも力を合わせてがんばって!

**日本カーリソリューションズ(株)
仙台支店**

「この時代を生きるために」

日頃から電友会の皆様にはひとかたならぬご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。世界中を席卷した新型コロナウイルスはあらゆる場面で我々の生活に影響をもたらしています。私どもはこの時代を「当たり前」の事を再認識し、働き方については生き方を内省する絶好の機会「考え新しい価値観をもって立ち向かうこととしています。何かと不便の多い今日ですが、この状況が1日も早く解消され、平穏な日々が戻りますようお願い申し上げます。

◎支部長メッセージ



山形支部長

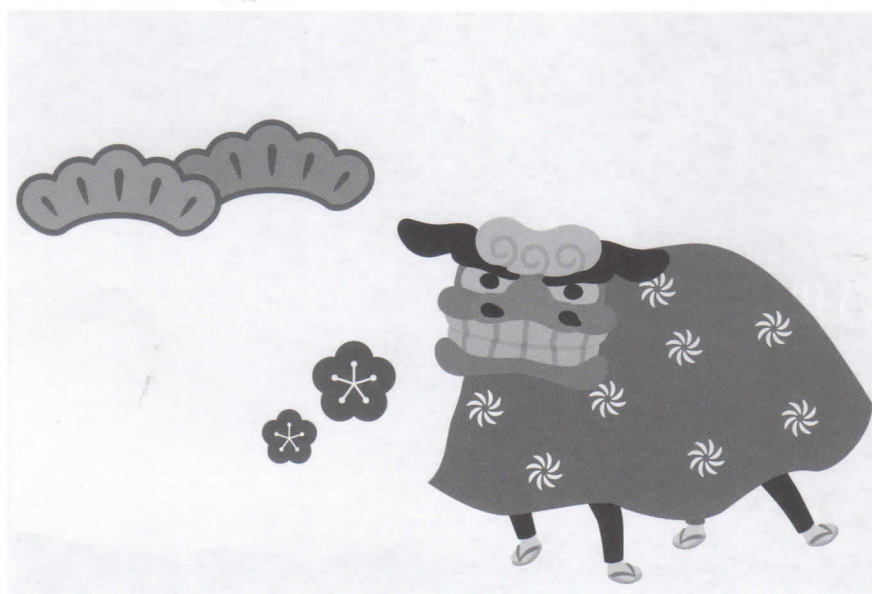
鈴木 哲

スマホを持っていても、使い方が電話、メールと天気予報等の情報検索程度だった私のような人は意外と多いのではないのでしょうか。8年前に必要に迫られた訳でもなく、単なる見栄でスマホに変えたが故の当然の成り行きだったのですが、コロナ禍のお陰(?)で、2つのアプリを使えるようになりました。1つは「LINE」です。毎年ゴールデンウィークには山形県外に住む子ども達の家が帰省し、賑やかになるのですが、コロナ禍で帰省することができず、寂しい思いをしておりました。そのような時に、子ども達から動画によるオンライン飲み会の提案がありました。それがLINEを始めるきっかけとなりました。その後、子ども達との情報交換はLINE主体で、オンライン帰省も続けており、お盆には墓参りをオンラインでやってもらいました。これからもLINEを使いこなし、特に子ども、孫達との絆を深めていければと思っています。もう1つは「おサイフケータイ」です。これまで買物等での支払いは、高額の場合は

クレジットカードを使っていたものの、現金払いが主体でした。消費税が10%になった際キャッシュレス決済を利用することで、ポイント還元を得られる優遇措置もありましたが、情報流出による不正使用が不安で、キャッシュレス決済化に踏み切ることができませんでした。しかし、新型コロナウイルス感染症防止策の1つとして、キャッシュレス決済に対する注目度が高まり、感染すると重症化する恐れがある高齢者の私としては、不正使用の不安よりも、感染リスク低減が大事との思いから、非接触で決済可能なおサイフケータイを始めました。使ってみると店舗にある読み取り機にスマホをかざすだけで支払いができ、感染防止には大変有効だと感じています。また何となくトレンドイイな気分も味わっています。このような2例はスマホを使いこなししている人にとっては当たり前なのでしょうが、間もなく後期高齢者となる私にとってはかなりの進歩だと思っています。

新型コロナウイルス感染が早く終息し、「普通の生活」、そして電友会として「普通の活動」ができることを願っていますが、現段階ではその見通しがたたず、しばらくは新型コロナウイルスと付き合わざるを得ない状況です。そのような中、多くの企業がコロナ禍を新た

な価値を見出す良い機会と捉え、DX(デジタルトランスフォーメーション)等での事業改革に取り組んでいるとのことです。私達もコロナ禍を過度に悲観するだけでなく、自分の生活に新たな楽しみや潤いを加えて、より豊かなものにする良い機会と捉え、これまで経験したことがないこと等に積極的にチャレンジしてみてもいいのでしょうか。



— 忘れない。忘れてはいけない —

震災コーナー



◎福島県南相馬市小高区の“今”



電原町退職者の会 半谷 敬一

東日本大震災及び東京電力第1原子力発電所の爆発事故により、全会員の避難時には全国の仲間からご支援と励ましを頂き有難うございました。

今は、震災からの復興は進んでいますが原発事故の収束が進んでいない事から数人が未だに避難生活を続けているものの、大半が地元に戻り生活をしています。私も、避難指示の解除と同時に地元に戻り家の改修工事や周辺の整備を図り、以前の生活に戻っています。

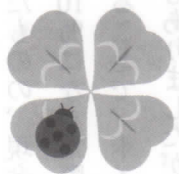
私の住んでいる小高区では津波での自宅の流失や原発事故の影響から、4割程度の方しか戻っていません。年齢も高齢者が多く、若い人の戻りが少ない状況です。そのためこの

春から小学校が4校から1校に統合、県立高校は商業と工業の2校が統合し産業技術高校に校名を変更しています。

市では、若い人の帰還や移住者の受け入れ等、震災からの復興に向けて取り組んでいますが、原発事故の収束が見通せない中では、難しい状況にあるようです。

そのような現状にある中で、私の住んでいる大井行政区では6割の方が戻ってきており老人会の会長やパークゴルフの会長をやりながら地域の皆さんと楽しく余生を送っています。

ただ、今はコロナウイルス感染の不安を感じながら対策をとって実施しています。早く収束することを願っています。



NTT Communications

今日と未来の間に。

東北地方本部だより

東北地方本部事務局

◎支部長・事務局長会議

2年7月20日を予定していましたが、コロナ感染予防のため書面会議としました。

本部理事会及び評議員会模様（書面会議）

について報告がありました。なお、この中で本部長が鈴木正誠さんに代わり高部豊彦さんが選任されました。この他、電友会ボランティア活動功労賞への推薦、会報88号の発行、NTTグループ東北スポーツ後援会への協力等について審議されました。

◎電友会ボランティア活動賞の受賞

例年は、本部主催の表彰式がNTT幹部、電友会役員等出席のもと東京で開催されていましたが、今回は取り止めとなり受賞者への直送若しくは支部長・地区会長からの伝達とさせていただきます。東北の受賞者は次の通りです。

①第30回電友会ボランティア活動賞

・須釜 玉喜さん（福島支部）
「高齢化社会に於ける健康長寿活動に寄与した功績」



電友会ボランティア活動賞受賞
須釜 玉喜さん（福島支部）
H25.11.20 第29回福島県高齢者福祉大会会場にて

NTT退職後、棚倉町行政区长、老人クラブ連合会長等を歴任する傍ら、高齢者向けスポーツ「クロリテイ」の普及・促進にも取り組み成果を上げる等、地域の高齢者社会福祉活動に尽力され、福島県知事から「高齢者福祉向上に貢献した功労賞」を授与されました。こうした永年の活動が評価されました。

・八木 善政さん（岩手支部）
「震災被災者への支援活動と社会貢献の功績」

NTT退職後、山田町織笠地区の「コミュニケーション推進協議会」会長として地域の活性化



電友会ボランティア活動賞受賞
八木 善政さん（岩手支部）



八木さんの被災者支援活動
演芸会の模様

に取り組んできました。東日本大震災時は避難所運営組織の代表となり支援物資の円滑な供給等に尽力され、避難所閉鎖後も各種行事を企画・実行し被災者への支援活動を継続してきたことが高い評価を受けました。

・土屋 幸子さん（山形支部）

「地域福祉活動とごみ減量・資源再利用促進活動の功績」



電友会ボランティア活動賞受賞
土屋 幸子さん（山形支部） 整列写真
（前列右から2人目）

地域のために役立ちたいとの気持ちから28年もの永きに亘りボランティア活動に取り組んでいます。地域の児童とともに一人暮らしの高齢者への訪問活動や地域の「資源再利用促進協議会」での行政・住民・業者と連携し

た研修会・分別指導等、きめ細かな活動に取り組んできたことが高く評価されました。

②第6回電友会ボランティア活動功労賞

・花の絆（代表 鈴木 三枝子さん）

（福島支部）

「花を届けて庭先に笑顔が咲きました」

平成30年から会員へ花の苗を届け、みんなで花を育てる活動を展開しています。苗は事務局長宅のビニールハウスで種から育てたもので地域の班長が会員宅に配ります。こうした活動が会員相互のコミュニケーションを高め、更には新規会員増にも繋がる等、会員サービスの向上が功労賞となりました。



電友会ボランティア活動功労賞受賞 花の絆
（代表：鈴木 三枝子さん／福島支部）
ひまわりの種採取の様

・米田 武志さん（青森支部）
「まだまだ若者には負けられない」



電友会ボランティア活動功労賞受賞 米田 武志さん（青森支部）
1997.1.25 第10回 NTT 全国アイスホッケー大会
於 苫小牧白鳥アリーナにて（右側が米田選手）

八戸転勤とともに、NTT八戸アイスホッケーチーム「NTTコロリンズ」に入会。退職後も電友会八戸地区会長を務める傍らチームの中核としても活躍。アイスホッケーで培った幅広い人脈を活かし、電友会の円滑な運営に貢献してきました。その原点は「まだまだ若者には負けられない！」。永年の活動の実績と心意気が功労賞となりました。恒例の次の行事は中止となりました。

○全国女性の会（本部主催）

○震災復興支援ボランティア活動

・気仙沼・大島での復興支援（持株主催）
・東松島市海岸防災林再生活動

（宮城事業部主催）

震災復興支援ボランティア活動については今年度は中止となりましたが、次年度以降再開されましたら「チームNIT」とし積極的に参加していきたいと思えます。その節は、皆様のご協力をお願いします。

◎高齢者叙勲のご紹介

謹んでお祝い申し上げますと共に、益々のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

（叙位・叙勲）（支部名）（ご氏名）

瑞宝双光章 宮 城 菅野 善昭様

（令和2年7月～令和2年11月まで）

◎物故会員の叙位・叙勲

一次の方々は、生前のご功績により、それぞれのご逝去の日をもって叙位・叙勲の荣誉に浴されました。

（叙位・叙勲）（支部名）（ご氏名）

従六位 宮 城 斎藤 芳夫様

瑞宝单光章 岩 手 鈴木 博様

瑞宝单光章 岩 手 大松澤 恵治様

（令和2年6月～令和2年11月まで）



新入会員募集しています

電友会では、常時、新会員の受付をしています。

皆様のご友人で入会されていない方がおいでになりましたら、ぜひ、入会を勧めていただきますようお願いいたします。

【お問合せ・連絡先】

電友会東北地方本部



お電話で

(022) 212-1443

FAXで

(022) 212-1444

Eメールで

keyaki@cocoa.ocn.ne.jp